

## 事業報告書 (No. 11)

1 支援団体名	NPO法人 水辺に遊ぶ会
2 事業名称	中津川生きもの調査
3 実施日時	平成19年6月～平成20年1月31日
4 実施場所	大分県中津市 山国川水系 中津川河口域
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>平成18年度より5カ年計画での市民ボランティアによる中津川生物調査を計画している。本年度はカブトガニ調査(産卵地調査・幼生分布調査・成体調査)および底生生物(カニ・貝)調査を中心に実施。研究者を3名招き、フィールドワークを実施するとともに、地元の観察会のサポートなども行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カブトガニ成体標識調査;随時</li> <li>○底生生物、カブトガニ産卵・幼生調査;6/2, 6/14, 7/1, 7/28, 8/25, 10/13, 11/22</li> <li>○中津川河口観察会;11/7(中津市立南部小学校3・4年生)</li> <li>○その他;生物リスト作成・写真撮影ほか(6月～1月)</li> </ul>
	<p>(実施事業効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■山国川水系の生物状況(カブトガニ・底生生物)を把握できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・卵は確認できなかったが、カブトガニの産卵痕を確認したことにより、産卵地である可能性が確認できた。</li> <li>・底生生物では、特に国内の汽水域に生息する巻貝とカニが、ほぼ全種類確認することができたことにより、中津川河口の環境の優位性が分かった。</li> </ul> </li> <li>■地域の小学生との観察会を通じ、流域環境の保全への啓発推進を図ることができた。この河口部は本年度「水辺の学校」に登録された経緯もあり、今後、地域の環境学習の場としても重要になると思われる。</li> <li>■近年注目される河口域の環境のメカニズムや重要性を知ることができた。</li> </ul>
6 参加内訳	総人数 <span style="float: right;">120名</span>
	(1)主催者参加 <span style="float: right;">25名</span>
	(2)日本人参加((1)を除く) <span style="float: right;">95名</span>
	(3)外国人参加((1)を除く) <span style="float: right;">0名</span>
7 今後の方針	<p>次年度も調査を継続することにより、中津川河口の生物状況の把握に努める。</p> <p>平成20年度の調査内容   ・カブトガニ調査   ・河口魚類調査</p> <p>平成21年度以降の課題についての検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アオスギの生態調査   ・河口域の砂の調査ほか</li> </ul> <p>中津川河口生物リストの完成、生物情報MAPの作成</p> <p>河口の自然環境及び生物生息環境の保全に対する啓発活動の実施</p>

中津川河口観察会



中津川河口観察会

